

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ(第266回)

日時 平成30年11月27日(火) 午後1時半～3時半
場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第7会議室
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第7会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通情勢について
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
 - 2、「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部を改正する命令案」に対する意見の募集について
 - 3、信号機のない横断歩道における歩行者優先を徹底するための広報啓発・指導の強化について
 - 4、交通事故統計(10月末及び11月26日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告

去る10月30日開催の第265回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について想う」と題して開会挨拶がありました。横浜で路線バスが追突事故を起こし、1名死亡、6名重軽傷という悲惨な結果となった。情報では、2か月前の運転手の健診結果に異常は見られなかった。当日は午前8時から12時間にわたる勤務を行っていた。そして「追突直前に意識を失った」と証言している。このような現

象はマイクロスリープと呼ばれ、過労、飲酒などが原因となる瞬間的な睡眠状態をいう。自動運転が開発された動機は、事故のほとんどはヒューマンエラーによるものだから、人間が運転から離れば事故は減るという考えに基づく。技術の進展によって事故が減少することを期待したい。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐(警視)より、「平成30年秋の全国交通安全運動期間中の交通事故発生状況」について解説がありました。9月21日～30日の運動期間中死者数は94人で、昨年と変わらなかったが、発生件数と負傷者数は20%近く減少した。重点目標の子供の死者は2名(1名増)、高齢者は50名(2名減)となった。また、飲酒事故は30件以上減ったが、死者が4名出た。

次に、「認知機能検査・高齢者講習の円滑な実施に向けた取組」について解説がありました。認知機能検査・高齢者講習の円滑な実施に向け、各県警が様々な取り組みを行っている。認知機能検査の早期予約の確保、高齢者講習実施枠の拡大、教習所以外の法人による高齢者講習の実施、高齢者講習予約空き状況の公開などがあげられる。

次に、「交通事故統計(10月29日まで)」について解説がありました。10月は微増傾向となってしまったが、引き続き過去最少ペースで推移している。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出された。◎認知機能検査→高齢者講習の順で行うが、高齢者講習には空きがあるのに認知機能検査に空きがなく、長く待たされるうちに忘れてしまうこともある。何とか解消してもらいたい。◎自転車保険を義務化する自治体が増えている。事故によって高額な賠償を請求される可能性もあるので、よいことだと思う。◎以前は1日平均死者数10人が目標だったが、このまま行けば平均9人も視野に入ってくるペースで、喜ばしい。

★ 資料代 会員500円
次回、11月27日(火)の交通部会(参)に

出・欠 (いずれかに○印)

事務局宛FAX 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様のFAX _____ 電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。
非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。
(その際の会費は二千元となります。)